

防災訓練の結果の概要【要素訓練】

1. 訓練の目的

本訓練は、「福島第一原子力発電所 原子力事業者防災業務計画 第2章 第7節」に基づき実施する要素訓練であり、手順書の適応性や人員・資機材確認等の検証を行い、手順の習熟及び改善を図るものである。

2. 実施日及び対象施設

(1) 実施日

平成27年10月23日(金)～平成28年12月7日(水)

(2) 対象施設

福島第一原子力発電所

3. 実施体制、評価体制及び参加人数

(1) 実施体制

訓練ごとに実施責任者を設け、実施担当者が訓練を行う。

詳細は「添付資料1」のとおり。

(2) 評価体制

計画通り訓練が実施されていることを実施責任者が確認する。

(3) 参加人数

「添付資料1」のとおり。

4. 防災訓練のために想定した原子力災害の概要

(1) モニタリング訓練

敷地内の放射線または空気中の放射能濃度が上昇した状態を想定。

(2) アクシデントマネジメント訓練

原子炉及び使用済燃料プールの全ての冷却機能が喪失に至る事象を想定。

(3) 電源機能等喪失時訓練

全交流電源喪失、原子炉及び使用済燃料プール除熱機能喪失、シビアアクシデント事象を想定。

5. 防災訓練の項目

要素訓練

6. 防災訓練の内容

(1) モニタリング訓練

(2) アクシデントマネジメント訓練

(3) 電源機能等喪失時訓練

7. 訓練結果の概要

各要素訓練の結果の概要は「添付資料 1」のとおり。

訓練にあたり、本設機器へ影響が生じる手順は模擬とし、机上による手順の確認を実施した。

8. 訓練の評価

各要素訓練の評価結果は、「添付資料 1」のとおり。

9. 今後の原子力災害対策に向けた改善点

各要素訓練で抽出された改善点及び今後に向けた改善点は、「添付資料 1」のとおり。

以 上

添付資料

1：要素訓練の概要

要素訓練の概要

1. モニタリング訓練 (訓練実施回数: 3回, 参加人数: 延べ14名)

概要	実施体制 (実施責任者, 実施担当者)	評価結果	当該期間中の改善点	今後に向けた改善点
<p>モニタリング訓練</p> <p>敷地内の放射線のモニタリングを行い,各種サーベイメータの取り扱い方法を習熟するとともに,放射線防護装備の選定や作業可能時間の把握を目的とした訓練を実施した。</p>	保安班長 保安班員	良	特になし	今後も継続的に訓練を行い,能力の向上を図る。

2. アクシデントマネジメント訓練 (訓練実施回数: 17回, 参加人数: 延べ114名)

概要	実施体制 (実施責任者, 実施担当者)	評価結果	当該期間中の改善点	今後に向けた改善点
<p>アクシデントマネジメント訓練</p> <p>原子炉注水機能喪失時における仮設プールを用いたホウ酸水注水及び再臨界評価の技能習得を目的とした訓練を実施した。 また,燃料プール漏えい時における漏えい量や TAF 到達時間の評価に関する技能習得訓練を実施した。</p>	復旧班長, 技術班長 復旧班員, 技術班員	良	<ul style="list-style-type: none"> ・評価に使用するデータシートの図, グラフを理解しやすいよう改良した。 ・机上研修に写真や概略図を用い, より理解を深めた。 	今後も継続的に訓練を行い,能力の向上を図る。

要素訓練の概要

3. 電源機能等喪失時訓練（訓練実施回数：246回，参加人数：延べ1231名）

概要	実施体制 (実施責任者, 実施担当者)	評価結果	当該期間中の改善点	今後に向けた改善点
<p>緊急時の電源確保に係る訓練</p> <p>電源車及び仮設発電機等用いた監視計器や照明, 通信設備等の電源確保訓練を実施した。</p>	<p>復旧班長, 保安班長 復旧班員, 保安班員</p>	良	特になし	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発電機の設置場所を変更し, 換気の改善を図る。 ・ 床に直置きされている発電機～電源盤までのケーブルを壁面等に固定し安全対策を図る。
<p>緊急時の最終的な除熱機能の確保に係る訓練</p> <p>消防車やコンクリートポンプ車, ディーゼル発電機搭載の注水車を用いた原子炉・使用済燃料プール等への注水訓練を実施した。</p>	<p>復旧班長, 運転班長, 当直長 復旧班員, 運転班員, 当直員</p>	良	特になし	<p>使用済燃料プール漏えい時に仮設プールや仮設ポンプを用いて, 使用済燃料プールに漏えい水を戻す手順を構築し, 手順書へ反映する。</p>
<p>シビアアクシデント対策に係る訓練</p> <p>移動式クレーンや重機操作の技能習得並びに対応力向上を目的とした訓練を実施した。</p>	<p>復旧班長 復旧班員</p>	良	特になし	<p>移動式クレーンの動作訓練だけではなく, 走行訓練においても合わせて実施する。</p>